

3.11 メモリアルイベント 2024「けせんぬま伝承・防災文化祭 2024」が開催されました (2024/3/1～31)

会 場：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）

2024年3月1日（金）から3月31日（日）まで、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館において3.11 メモリアルイベント「けせんぬま伝承・防災文化祭 2024」が開催されました。この防災文化祭において、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がサポート役を務めました。

伝承館は開館から5周年を迎え、気仙沼市内の小・中・高校生のいろいろな視点から街の未来につないでいくための取り組みが発表されました。「私の思い 未来の翼に」をテーマに掲げ、中高生によるポスター展示、全国から募集した未来へつながる川柳も展示されました。16日には中高生による探求学習や防災学習の発表、17日にはブース展示があり、ワークショップでは、けせんぬま伝承・防災文化祭実行委員による新聞スリッパ、段ボール椅子などの作り方や大学生による未来につなげるポストカードが紹介されました。うち、16日と17日の午後には、「語り部をする高校3年生の思いを翼に乗せて後輩たちへ」と題して、同館で中高生語り部をつとめ、この3月で高校卒業や大学進学する若者をメインにしたトークセッションが行われました。佐藤准教授がモデレータを担当し、高校生とこれまでの活動のふりかえりと今後の展望について楽しいトークが繰り広げられました。

3月は1年の中でも特に多くの方が県内外から伝承館を訪れます。東日本大震災から学び、未来へつなげようとする中高校生の思いや伝承館の必要性を感じました。



展示の様子①



展示の様子②



トークセッションの様子①



トークセッションの様子②

文責：小野寺克江（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤 翔輔（防災社会推進分野）